

元気な草加 優しい越谷

# NEWS LETTER

衆議院議員・弁護士

# 細川律夫



2008年1月8日 No.134

細川律夫国会事務所 Tel 03-3508-7513 Fax 03-3593-7148 E-mail g04091@shugiin.go.jp  
南越谷事務所 Tel 048-989-8788 Fax 048-989-5300 HP: <http://minshu.org/hosokawa/>

## 明けましておめでとうございます



衆議院議員 細川律夫

### 政権交代に向けて

旧年中は大変お世話になりました。昨年は春の統一選、そして夏の参院選と、皆様のご支援のお蔭で、民主党は大躍進を遂げることができました。特に、7月の参議院選では、埼玉選挙区で2名の当選、そして全体でも大差での与野党逆転を果たし、その後の国会の状況も大きく変わりました。



報道では、ねじれ国会のため、法案の成立も滞りがちと言われていますが、実際は与野党が従来にない真剣な協議を行い、多くの法案が成立しています。薬害肝炎にしても、参議院の勢力と世論の力でやっと救済の道が開かれたのです。しかし、そうは言ってもまだ衆議院は自公与党が3分の2を占めており、私たちの公約が実現できる環境ではありません。

今年は、春の予算成立時か、遅くとも7月のサミット後に衆議院の解散、総選挙が行われると予想されています。何としても、この総選挙でねじれを解消し、政権交代を実現することを心底願っております。そのためには、皆様のお力にすぎるしかありません。どうか、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 国のかたちを決める

この総選挙の大きな意義は、今後わが国の進路をどうするか、にあります。小泉・安倍政権の6年余で、わが国は格差が拡大し、世相もなにかぎすぎすしたものになってしまいました。また、年金記録問題にせよ、防衛利権にせよ、政府に対する信頼は地に落ちています。政府や政治に対する信頼を取り戻し、だれもが安心して暮らせる社会にすることが、私たちに課せられた大きな使命です。そのためには、一旦政権を民主党にお与えいただくしかない、と確信しております。

### ネクスト法務大臣として

私は、昨年9月から、民主党「次の内閣」で法務部門を担当しております。法務は皆様にとってあまり身近ではないと思いますが、国民の安全を守り、人権を守るためには大切な役割を果たしています。



法務委員会で細川代議士の質問に答える鳩山大臣

なかでも皆様の関心事は裁判員制度ではないでしょうか。平成21年5月までに裁判員制度が始まり、だれもが、有罪・無罪を判断し、量刑を決める「裁判員」に選ばれる可能性が出てきます。この制度がしっかり運用されるようにチェックするもの立法府の役割です。

法務と言えば、犯罪を連想する人も多いと思います。私は、保険金殺人などの犯罪やガス湯沸かし器の事故などが見逃されている現実を憂い、死因究明制度を見直す法案を提出し、議論を続けています。相撲部屋のリンチ事件でわが国の検視制度の弱点が注目され、マスコミもこの問題を注視しています。今年はぜひこの件も大きく前進を図りたいと考えています。もう一つは冤罪(えんざい)の防止です。昨年は鹿児島や富山などで冤罪事件が続きました。自白の強要によって立件するという捜査手法を変えるため、民主党では取り調べの状況をすべて録音録画する「取調べの可視化法案」を提出しています。この実現も今年の課題です。

## 労働法制の担当も

一昨年以来、労働法制についても党の政策責任者として関わってまいりました。今、日本の働き方は2つの大きな問題を抱えています。一つはパートや派遣など非正規労働の増大、もう一つは過労死を生む働きすぎの問題です。今後も、これらの課題に取り組んでまいります。

昨年は、労働契約法という新法、そして改正最低賃



金法を与野党協議の結果、共同修正によって成立させてまいりました。今年のテーマは労働者派遣法です。現在、スポット派遣と言われる日雇いの派遣が大きな社会問題になっています。ネットカフェ難民に象徴されるワーキングプアの存在も解決しなければなりません。「派遣」という働き方を今後どういう方向にしていけるか、党内で議論を重ねているところです。

安心して年金をもらえるには、どういう制度にするか、という問題、タクシーやバスなど、規制緩和のかけの部分をどう解決するかという問題、あるいは医療や介護、福祉の後退にどう歯止めをかけるか、など、問題は山積しています。今年も、皆様の声を背に、一生懸命努力していきたいと考えております。

## 地域の課題に取り組む

埼玉3区、草加、越谷の地域の問題も多々あります。

今年、この地域最大の話題は、越谷レイクタウンのまち開きと武蔵野線新駅の開業です。3月半ばに新駅ができ、それを拠点に急ピッチでまちづくりが進みます。その際、道路やバスなど交通の問題も重要です。特に、大きな商業施設が開店すれば渋滞解消策や事故対策も欠かせません。

草加西部の話題は「日暮里・舎人ライナー」の開業です。日暮里駅と足立区最北部を結ぶ新線が3月30日、開業します。草加西部の方々は東京へのアクセスが格段によくなります。



財務省に要望する細川代議士と板川市長

道路では、東埼玉道路の延伸が大きな課題です。昨年も越谷市長とともに国交省などに要請を行いました。

治水や職業安定事業(ハローワーク)あるいは社会保険など、国の事業はたくさんあります。今後も県や市など地方自治に携わる皆さんと連携を強め、地域の問題に関わってまいります。